

# はしがき

海外には、一般犯罪はもとより、戦争や内乱、暴動、テロ、大規模自然災害など、実にさまざまなリスクが存在しています。

そのようなリスクと直接向き合うことになるのは、海外赴任者とその家族ならびに出張者です。「世界で日本より安全な国はほとんどない」との前提に立って、日本での意識や感覚、習慣から脱却し、自己防衛の意識を高め、犯罪者の標的になりにくい、いわゆる“ハード・ターゲット”を目指すことが肝心です。

赴任先・出張先によって危険度の高さや発生するリスクの種類はそれぞれ異なり、また時代とともに変化します。そのため、事前にその国の最新状況について調査し、具体的な対策・対応をとることが大事です。もちろん、どの国、いつの時代でも事件・事故の発生を全くゼロにすることはできません。しかし、自らがKnowing why(何が原因なのかを知り)、What to do(では何をすべきか)、How(どのような方法で)と考え、Plus Action(頭の中だけではなく実際に行動)することにより、事件・事故に遭う確率を下げ、たとえ事件・事故に遭っても被害を最小限に食い止めることができます。

そこで当協会では、海外赴任者・出張者向けの安全対策マニュアルとして、2012年に本書を発行しました。本書は、当協会が過去2度アメリカに海外安全調査団を派遣した際に得た、先進企業や関連団体のノウハウや資料、および当協会が過去に発行した安全マニュアルを統合して作成したものです。また、2016年にはイスラム過激派組織等の影響を受けたテロ事件が多発したことから、テロ対策に関する内容を充実させ、改訂第2版を発行しています。

そして今回、世界情勢の不安定化に伴う治安情勢の悪化を鑑み、家庭での安全対策と国外退避の章を見直した改訂第3版を発行することになりました。海外赴任者、出張者の皆様にご活用いただければ幸いです。

2024(令和6)年3月

一般社団法人 日本在外企業協会  
海外安全センター

# 目 次

はしがき

## 1. 出発前の準備

- 1-1 安全対策の3つの基本理念…………… 1
- 1-2 出張・赴任前の情報収集…………… 1
- 1-3 一般的な注意事項…………… 2

## 2. 家庭における安全対策

- 2-1 住居…………… 4
- 2-2 家庭…………… 10
- 2-3 使用人…………… 14
- 2-4 留守宅対策…………… 15
- 2-5 緊急事態に備えて…………… 16

## 3. オフィス(事務所・工場)

- 3-1 建物・設備…………… 18
- 3-2 管理…………… 18
- 3-3 一般的な注意事項…………… 19

## 4. 自動車

- 4-1 自動車の選び方と整備、装備…………… 20
- 4-2 一般的な注意事項…………… 21
- 4-3 運転手…………… 21
- 4-4 運転・走行中の注意事項…………… 22
- 4-5 駐車…………… 23
- 4-6 交通事故対応…………… 24

## 5. 外出時

- 5-1 一般的な注意事項…………… 26
- 5-2 タクシー、公共交通機関…………… 27
- 5-3 非常に多い窃盗犯罪の例…………… 28
- 5-4 犯罪被害への備え…………… 29
- 5-5 テロ（爆弾テロ・銃乱射など）に巻き込まれないために…… 30

## 6. 出張／旅行

- 6-1 事前の準備…………… 36
- 6-2 自動車を利用する場合…………… 37
- 6-3 航空機を利用する場合…………… 37
- 6-4 出迎え詐欺・白タク被害に遭わないために…………… 38
- 6-5 現地での注意事項…………… 40
- 6-6 ホテルでのセキュリティ…………… 41
- 6-7 ホテルで火災が発生した場合…………… 42

## 7. 誘拐

- 7-1 誘拐事件に巻き込まれないために…………… 44
- 7-2 誘拐事件が発生した場合…………… 45

## 8. 爆弾脅迫

- 8-1 日頃の心構え…………… 48
- 8-2 電話による場合…………… 48
- 8-3 書面・郵便物による場合…………… 49
- 8-4 脅迫への対応…………… 49

## 9. 国外への緊急退避

- 9-1 平素の備え…………… 51
- 9-2 緊急時の対応…………… 55

## (参考資料)

- 〔Ⅰ〕 典型的な犯罪の手口例…………… 59
- 〔Ⅱ〕 日本人が巻き込まれた犯罪被害例…………… 66
- 〔Ⅲ〕 外務省・海外安全情報のあらし…………… 75
- 〔Ⅳ〕 日外協発行の出版物…………… 78